

金城学院幼稚園 2025年度

こどもニュース

12.11 発行

No. 15

【アドベントカレンダーを『待つ』楽しみ】

教会でのアドベントはクリスマス4週前の日曜日からですが、幼稚園では讃美礼拝から数えて4週前の合同礼拝がアドベントⅠとなります。礼拝では、アドベントクランツのろうそくに明かりを灯します。12月10日(水)のアドベントⅢでは、3本のろうそくに明かりが灯りました。1週間に1本ずつ増えていく明かりが、4本のろうそく全てに灯る讃美礼拝の日を、みんなで楽しみに待ちます。初めて幼稚園でのクリスマスを経験することとなる子どもたちも、学年でのあつまりやハレルヤの中で聖書のお話を聞き、クリスマスの本当の意味について少しずつ知っていています。

クラスでは、アドベントカレンダーを製作しました。今年のアドベントカレンダーは、「天使」です。きれいなレースペーパーを折って、とても可愛らしい表情の天使が出来上がりました。クリスマスのお話の中で「天使」は、ガブリエルがマリアにイエス様の受胎を告げたり、御使いや天使が羊飼いたちにイエス様の誕生という喜びの知らせをもたらす神の使者としての役割を表しています。このアドベントカレンダーは、アドベントⅠの週からクラスの壁面などに少しずつ飾っています。今日は誰が飾るのだろう…と、子どもたちはワクワクしながら自分が飾る日を心待ちにしています。選ばなかった時、残念そうな顔をする子どもいますが、嬉しそうに「天使」を飾る



お友だちを見て、「おめでとう」と声をかける姿も。喜びを分かち合う温かい心が育っているんだなあ嬉しくなります。クラス全員のアドベントカレンダーが飾られた日が、讃美礼拝当日です。待つことに喜びを感じながら、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。(りな)

◆ いよいよクリスマス ◆



来週には、にじぐみクリスマス礼拝、讃美礼拝を迎えます。子どもたちは11月から少しずつ準備をしてきました。献金箱やアドベントカレンダーを作ったり、自分のクリスマスブックを受け取ったり、お部屋やもみの木に飾りをつけたり…。目に見えることを通して、またアドベント礼拝やハレルヤを重ねる中で、自分なりに本当のクリスマスについて考え、楽しみに待つ心が育ってきました。

保護者の方も、クリスマスの意味や子どもたちが準備してきたことについて理解を深め、お一人おひとりが心の準備をしてくださいますように。ぜひ「こどもニュース クリスマス特集No. 1～3」を読み返して、クリスマスを待ち望む子どもたちと心を共にしていただければと思います。

— ともに礼拝をお捧げくださる方々へのお願いと確認 —

ご理解とご協力をお願いいたします！

- ◆ 当日の朝を穏やかな気持ちで迎えるために、「警報等による日程変更について(11/13 発行)」と「讃美礼拝のお知らせ(11/27 発行)」をお読みいただき、登園時間・持ち物等をご確認ください。
- ◆ 2000 年前、初めてのクリスマスは暗い小さな馬小屋で、静かに厳かにイエスさまをお迎えしました。讃美礼拝は、その馬小屋のように遊戯室全体を暗くし、心静かに行われます。保護者の方も、携帯電話の電源を切り、カメラやスマホ等での撮影は禁止です。ご協力ください。
- ◆ 保護者席は園児1名につき1席です。席は決まっておりませんので、譲り合ってお座りください。席取りはご遠慮ください。
- ◆ 未就園児の参加はご遠慮いただいております。讃美礼拝中は支える会の方が託児を行ってくださいます。
- ◆ 欠席連絡は、9 時までにれんらくアプリに登録してください。讃美礼拝中はインターホン・電話の対応はできません。ご了承ください。
- ◆ 子どもたちの様子によって前後しますが、入場開始は 9:45 頃です。入場開始以降は出入りできません。やむを得ず途中退室される方は、マナ側の扉をご利用ください。
- ◆ 礼拝後、子どもたちは着替えをして、各クラスにて帰り支度をします。保護者の方は、この間に遊戯室の片付けなどお手伝いいただけると助かります。

細かな点までお願いしましたが、何よりも願っているのは

“イエスさまを中心に”

みんなで礼拝を捧げることです。

子どもたちと保護者のみなさまと共に

イエスさまのお誕生を喜ぶ時となりますように…

